

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	荒川区立心身障害者福祉センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年3月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育クラスを事業所として運営している施設であるとともに、その専門職としての児童発達管理責任者、作業療法士、心理士等の多角的な視点によって、その時、そのお子さんに必要な支援を考えることができる。	お子さんの本来持っている力を集団生活でも安心して発揮できるように、という視点に基づいて、園の先生方とお子さんの視点や背景を捉えた支援を一緒に考えることを心がけている。	記録や計画書、報告書をもとに、これまでの支援について、カンファレンスを行うなど、常に振り返ることで、次の支援に行かせるように努める。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同じセンター内では、発達相談や、療育クラスなど他の事業も行っており、保育所等訪問支援を担える職員に限りがある。そのため、対象とするお子さんの年齢や発達段階等に制限を設ける必要があること。	当センターでは複数の事業を提供しているため、他事業と兼務を行う職員も多く専従での配置が難しい状況にある。	専門性が高い職員を継続的に配置及び育成ができる体制の構築が必要である。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 荒川区立心身障害者福祉センター

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数 5名

回収数 4名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	0	0	2		・その都度の支援に必要な教材を準備して、センターから持参させていただいています。保護者様へはFB面接でご理解いただけるように今後も引き続き努めてまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3	1	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	1		・引き続きガイドラインを確認しながら、設定していくと共に、保護者様とのFB面接においても、丁寧にご説明をさせていただきよう、努めてまいります。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	0	2		・保育所等訪問支援事業内では、プログラムや研修会などは開催しておりませんが、心身障害者福祉センターとして、ペアレントトレーニング、ご家族向けの支援講座等定期的に実施しておりますので、今後必要に応じて保護者様にご案内させていただきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	0	0	0	・丁寧な情報共有とフォローバックがあり、園の様子がわかりました。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	0	0	1		・今後は、初回の訪問時には、非常口等、訪問先の先生方と確認をさせていただきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		保護者FBの面接では、実施させていただいております。引き続き、保護者様に安心いただけるように、報告をさせていただきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3	0	0	1	・意図的に誰のための訪問かわかりにくいようにしたと聞いています。	・お子様のいつもの様子を観察させていただけるような意図で、あえて、大人の注目が意識されないような状況で行動観察を行う場合がございます。いつもご協力、ご理解誠にありがとうございます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	・親子共に支えていただき、大変感謝しております。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 3月 31日

荒川区立心身障害者福祉センター

利用児童数

5名

令和8年3月1日

回収数 4園

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	1		・本児の困っているところ、課題になりそうなところをその場や事後に教えていただき、イメージしながら次につなげることができました。 ・レジュメなどに分かりやすくまとめていただき分かりやすかったです。 ・保育における援助の仕方と異なることもあり少し取り入れられない時もある。	・今後は、さらに園の先生方との情報共有の徹底に努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			・本児のことだけでなく、学級で取り上げるとみんなで向上につながりやすいこと、方法も一つの案として教えていただけて、とても学びになりました。 ・保育士と違った視点で意見がいただけてとても参考になりました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4			・教えていただいたことを実践してみてもうまくいったこと、難しかったことも含め、すべて丁寧に答えていただきました。 ・カンファレンスで詳しく話していただけて良かったです。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1		・本児の困りは、次の課題としてあったり、そのことが成長への一歩になったり、特性と成長の違いを教えていただいたことで見守り方の学びになりました。 ・半年間だけの利用だったので、軽減はされましたが、解消までは至らず、継続利用が大切だと思いました。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	1		・とても満足しております。 ・ありがとうございました。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・初日から、すごく丁寧に見て、教えていただきました。本児の課題のみならず、学級での指導やご提案もいただき、実践していくと周りの子たちもわかりやすく、行動に移せているように感じました。他児の本児への関わり方、話し方も変化し互いに楽しみあいながら遊べる姿も見られます。大人から友達への目の向けさせ方の援助方法をおしえていただいたおかげと思います。残り就学まで一か月をきりましたが、また何か課題などでご相談させていただければ幸いです。今回は貴重な学びをありがとうございました。</p> <p>・訪問支援で、その子に合った支援について聞くことができるので、助かっています。困っていることも相談しやすいです。</p> <p>・カンファレンスの時間ですが30分程度にまとめて話をいただくと助かります。</p>					<p>・先生方の大切なお時間をいただいている中、ご対応いただき誠にありがとうございます。今後、さらに先生方とお話し合いを進めていながら、効率的なカンファレンスの形を模索させていただきます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		荒川区立心身障害者福祉センター					公表日	令和8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	0	園の先生方と相談しながら作成したり、お願いしています。	今後も、引き続きそのお子さんに効果的な方法や教材を試行錯誤させていただきます。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	支援員同士で、常に訪問支援の状況を共有し、振り返るようにさせていただいております。	今後も、常に状況の共有、振り返り続け、必要に応じて目標設定の見直しも行っていきます。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0				
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	個の力をみる発達検査のみでなく、ご家庭での日常生活・園での集団生活など包括的にお子さんととらえ、今の段階で必要な支援計画を作成しています。	今後も、今の段階での必要な支援計画を、保護者様とご相談の上で、なおかつ、訪問先の園の先生方の考えや方針もお聞かせいただきながら作成してまいります。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	園との情報共有では、電話だけではなく、支援日とは別日に再度訪問して園の先生方との話が円滑に進むよう心掛けています。	電話、訪問の情報共有では、先生方の貴重なお時間をいただいていることを念頭に、口頭だけではなく、作成した資料なども利用しながら効率的に行ってまいります。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	保育所等訪問支援計画に沿った支援を行ったり、また目標の見直しのためにも、可能な限り、作成した者が支援員として園に出勤させていただいております。	基本的には、支援計画書を作成した職員が、園に定期的に出向かせていただくことにより、計画書に沿った支援を行うようにしています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	今後、支援ケースが増加した場合も、今現在行っているように打ち合わせてから支援を行えるように、定期的な打ち合わせが必要だと考えています。	今後も、担当者間での打ち合わせを継続して行い、複数の職員で支援を考えて行えるように、連携してまいります。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	Q15と同様に、今後ケースが増加した場合に打ち合わせが減少しないように、工夫が必要だと考えます。	今後も、担当者間での打ち合わせを継続して行い、互いに気付いた点を共有して次の支援につなげるように努めます。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	行動観察の記録は詳細に作成し、その現場では気づけなかったような支援において大切な関わりや、そのお子さんのご様子などを検証しています。	今後も、行動観察の記録の徹底に加えて、振り返りや、支援の検証に努めます。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	複数名での園訪問にて行動観察を行い、支援にならない場合でも先生方や保護者様との面談にて、お子様にその時必要な関わりを考えさせていただきます。	今後は、「経過観察」などシステムを用いて、お子さんにとってその都度必要な関わりを見直しを図っていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	現段階では、まだ関係者会議を行ったケースはありません。	今後も、その都度必要と思われる情報共有を適時行っていきたいと考えます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	各幼稚園・保育園の園長会にて、この事業のご理解をしていただけるように説明をさせていただきました。今後も、適時各関係機関との連携や体制の調整を行っていきたくと考えます。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	・学校側に伝えてもらいたいことを園に依頼し間接的に図っている。	・今後も引き続き、保護者様へ向けては、支援ごとの報告書を作成したり、就学支援シートについてお勤めするなどスムーズな移行が可能ないように心がけてさせていただきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	個人的に研修等を利用し、自己研鑽に励んでおります。	今後も定期的に、外部研修も含めて積極的に参加させていただき、学びの機会を増やします。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		今後も、その都度必要と思われる場合には、適時行っていきたいと考えます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		今後も引き続き、心身障害者福祉センターとして、定期的にペアレントトレーニングや、家族が参加できる研修会を実施していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	適時行っていますが、今後もさらにどのように行うことが良いのかを検討しつつ丁寧に行っていきたくと考えています。	今後も引き続き、作成した資料なども利用して、より丁寧に行っていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	園での支援だけでなく、ご家庭でのお話をお聞きできることで、より、集団生活にもつなげられると考えています。	今後も引き続き、1回の支援ごとに毎回、保護者様へのFB面接を実施する中で、ご家庭での子育ての悩み等もお聞かせいただき、一緒に関わり方等を考えるお時間をいただきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	たんぼぼセンターで主催している保護者様同士の交流機会を設けています。	心身障害者福祉センターによって、定期的に保護者が交流する機会を開催したり、外部でのそのような機会の案内を行わせていただいております。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		今後も、HPではアンケート結果や、訪問支援の案内等を掲載し、適時更新していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
訪問先施設	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	今後もさらに、園の先生方からご相談いただけるように信頼関係を築かせていただけるように連絡方法やシステムなども工夫していきたいと考えます。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				